

そ の 他

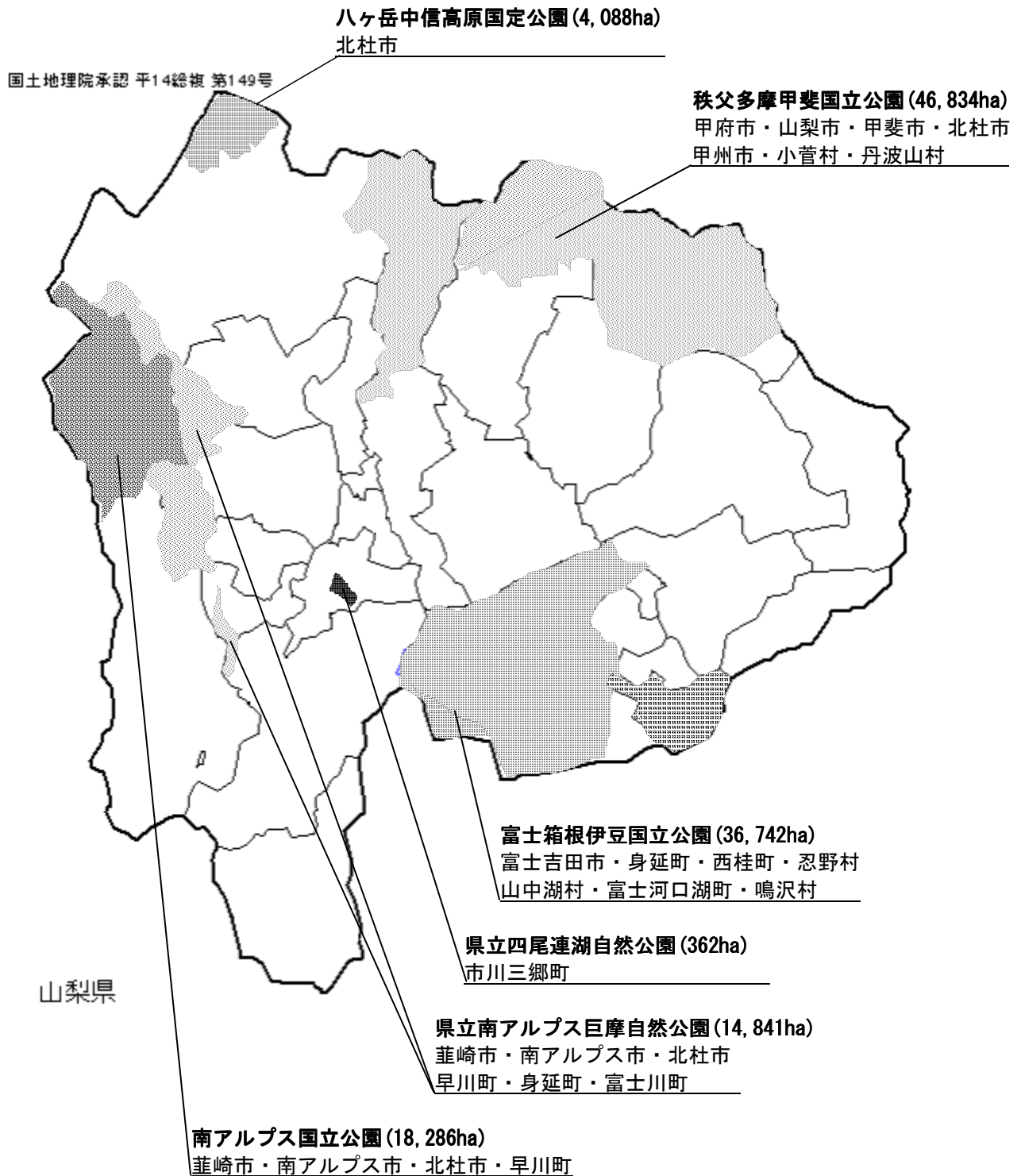
7 2 自 然 公 園

| 公園名 | 関係市町村 (都、県) | 指定年月日 〔追加〕 〔山梨県分のみ〕 | 公園 全面積 (ha) | 特 徴 |
|----------------|---|---|------------------------|---|
| 富士箱根伊豆 国立公園 | 〔東京都 神奈川県 山梨県 静岡県〕 富士吉田市 静岡巨摩郡身延 南都留郡 西桂町、忍野村 山中湖村、鳴沢 村、富士河口湖 町 | 昭和 11 年 2 月 1 日 〔昭和 50 年 2 月 21 日 北富士地域追加 平成 3 年 7 月 20 日 乗り入れ規制地域 の指定（北麓地域）〕 〔平成 8 年 7 月 16 日 変 更〕 〔平成 18 年 3 月 22 日 変 更 乗り入れ規制地域 の指定（本栖湖水面）〕 | 121,695 | 富士山は、海拔高 3,776m の狐峰の 壮大さと単式コニーデの典型的なも ので、その裾野には明媚な五湖をた たえ、北方には、三ツ峠、御坂山地、 パノラマ台などの好展望地を備え、 富士山の山腹を被う植生には顕著な 垂直分布が観測され、北西部の青木 ヶ原樹海、山中のハリモミ純林、つ つじが原のレンゲツツジの群落、富 士カラ松などが特徴のある植生を示 している。また、山腹には、随所に 火山現象による樹型溶岩、溶岩風穴 など学術的にも貴重な資料が多い。 |
| 秩父多摩甲斐 国立公園 | 〔埼玉県 東京都 山梨県 長野県〕 甲府市、山梨市 北杜市、甲斐市 甲州市、 北都留郡 小菅村、丹波山 村 | 昭和 25 年 7 月 10 日 平成 12 年 8 月 10 日 変更と同時に秩父多 摩甲斐国立公園に名 称変更 | 126,259 | この公園は、金峰山 2,599m を最高 峰とし、標高 2,000m を超える山々が 10 座以上におよぶ奥秩父連峰がほ ぼ東西に屏風状に並び、甲武信岳 (2,475m) で三方に分水して、笛吹 川、荒川、千曲川となり、それぞれ、 駿河湾、東京湾、日本海に注ぐ水源 地帯である。この地域は、構造山地 特有の古生層と相まって、すばらし い V 字型溪谷をつくり、壮年期の地 ぼうを呈し、花崗岩からなる金峰山、 瑞牆山、昇仙峡などの奇勝が特異な ランドマークを形成し、傑出した景 観を備えている。また、山地を被う 森林植生は暖帯林から亜寒帯林の垂 直分布が観測でき、貴重な高山植物 や野生動物の生息地としても適した 地域である。 |
| 南アルプス 国立公園 | 〔山梨県 長野県 静岡県〕 韮崎市、南アル プス市、北杜市 南巨摩郡早川 町 | 昭和 39 年 6 月 1 日 | 35,752 (35,751) | 本地域は、富士山に次ぐ第 2 の高 峰北岳 (3,193m) をはじめとする、 3,000m 級の高峰を有する赤石山地、 駒ヶ岳、鳳凰三山により構成されて おり、垂直的地殻隆起の壮大雄偉な 重量感ある山々と、山稜・山腹には 高山植物群落、原生林があり、原始 的景観がよく保たれている。また、 間ノ岳北岳、大樺沢、白根御池付近 には氷河地形がある。 |

| 公園名 | 関係市町村 (都、県) | 指定年月日 〔追加〕 山梨県分のみ | 公園 全面積 (ha) | 特徴 |
|-------------------|---|-------------------------|-------------------|--|
| 八ヶ岳中信高原 国定公園 | 〔山梨県〕 長野県 北杜市 | 昭和39年6月1日 | 39,857 | 八ヶ岳は、最高峰の赤岳で標高2,899mにおよび、日本列島を地質学上東西に二分する大地溝帯に沿って噴出した、南北25km標高2,000mを超える一連の見事な火山列を形成し、この火山列の頂部は並走する断層群によって地形が複雑化し、さらに著しい浸食作用により荒々しく削り出され、きわめて変化に富んでいる。また、山壁からは千尋の溪谷が流下し、中腹以下は優美な裾野が展開して、山岳と森林が形成する自然景観が特徴である。 |
| 県立四尾連湖 自然公園 | 西八代郡 市川三郷町 | 昭和34年4月2日 | 362 | 本地帯は、山上湖として有名な四尾連湖を中心として、これをとりまく大島山、蛾ヶ岳の諸峰と山麓にわたる地域である。四尾連湖は、周囲1.2kmの小湖であるが、山上にあって静かなたたずまいである。蛾ヶ岳はこの地域で最も高く、富士山、南アルプス、秩父の各連峰の展望地として格好の位置にある。 |
| 県立南アルプス 巨摩自然公園 | 韮崎市 南アルプス市 北杜市 南巨摩郡 早川町、身延町 富士川町 | 昭和41年4月1日 | 14,841 | 本地域は、南アルプス国立公園の前衛一帯からなり、御所山、燕頭山・千頭星山・大崖頭山・楡形山・富士見山と連続している巨摩山地で、赤石山地との境は一大断層線に相当していて、断層の裂け目に沿って西山温泉をはじめとする温泉や鉱泉に恵まれている。巨摩山地には小規模ながら準平原が残存するほか、白鳳溪谷、湯川不動庵などの溪谷美に恵まれた山岳景勝地である。また、亜高山植物の群落、天然記念物のカモシカあるいは野猿、鳥類の生息地である。 |

単位 面積：ha

| 面 積 (山 梨 県 分) | | | | 備 考 (関係都県公園面積) |
|-------------------------------|-------|----------|--------|--|
| (公 園 名) | | | | |
| 総 数 | 国 有 地 | 公 有 地 | 私 有 地 | |
| (富士箱根伊豆 国立公園) 36,742 | 2,301 | 22,234 | 12,207 | 東京都 27,499 神奈川県 10,356 静岡県 46,693 ※静岡県との境界未定 405 |
| (秩父多摩甲斐 国立公園) 46,834 | 197 | 35,403 | 11,234 | 埼玉県 34,411 東京都 35,298 長野県 9,716 |
| (南アルプス 国立公園) 18,286 | — | (17,692) | 593 | 長野県 14,079 静岡県 3,387 (注) 公園計画の再検討が終了していないため、県別合計と公園面積は一致しない。 () 内は県の再測定値による。 |
| (八ヶ岳中信高原 国定公園) 4,088 | — | 4,088 | — | 長野県 35,769 |
| (県立四尾連湖 自然公園) 362 | — | 60 | 302 | |
| (県立南アルプス 巨摩自然公園) 14,841 | — | 11,740 | 3,101 | |



(平成23年3月末現在)

73 名勝および天然記念物

(1)文化財保護法による指定

| 名称 | 地域 | 指定年月日 | 解説 |
|---------------------|---------------|-------------------------------------|---|
| 名勝 | | | |
| 特別名勝富士山 | 富士吉田市 外4町村 | 昭27. 11. 22 | 日本最高の高さ火山活動によって生まれた円錐形の山容は筆舌しがたい美しさがある。 |
| 特別名勝御岳昇仙峡 | 甲府市、甲斐市 | 昭28. 3. 31 | 荒川上流に展開する奇石怪石と青松のコントラストは絶景である。 |
| 猿橋 | 大月市 | 昭 7. 3. 25 | 卓抜な構架は日本三大奇橋の一つとして有名である。 |
| 恵林寺庭園 | 甲州市 | 昭19. 6. 26 | 心字池を中心とした築山、滝、洞穴などの岩石を多用した石組みは、剛健な趣がある。山号の乾徳山を垣間見ることが出来る。 |
| 向嶽寺庭園 | 甲州市 | 平 6. 6. 6 | 本堂の裏、塩山の斜面に石組みを配し、滝を落とし、龍池には東から西に水を通した池泉鑑賞式庭園。 |
| 天然記念物 | | | |
| 特別天然記念物 ライチョウ | 南アルプス | 大12. 3. 7 | 鶉鴉目、雉科（ライチョウ亜科）、ライチョウ属で、氷河期の大陸と陸続の時に、生息域を拡大したが、その後高山地帯にとりのこされた。 |
| 特別天然記念物 ニホンカモシカ | 南アルプス、秩父山系 | 昭 9. 5. 1 | 名前からはシカの仲間のようなが、偶蹄目、ウシ科、カモシカ属である。北海道、沖縄を除く日本全土の低山地から高山帯にかけて分布している。 |
| 特別天然記念物 鳴沢熔岩樹型 | 鳴沢村 | 昭27. 3. 29 | 溶岩樹型は溶岩が森林地帯を流れる時、樹木を包囲して固結して空洞となったものと、あるいは樹幹の中に溶岩が侵入して、そのまま固結するものがある。 |
| 富士山原始林及び青木ヶ原樹海 | 鳴沢村・富士河口湖町 | 大15. 2. 24 平22. 3. 8 (追加指定・名称変更) | 富士北麓青木ヶ原樹海から5合目に向かって一大原始林が続いている。この原始林は富士山の溶岩流の量により、森林の様相も異なっており、学術上からもまた植物垂直分布を見る上からも重要であり、また景観のうえからも価値が高い。 |
| 燕岩岩脈 | 甲府市 | 昭 9. 12. 28 | 柱状節理の代標的岩脈。 |
| 躑躅原のレンゲツツジ及びフジザクラ群落 | 富士吉田市 | 昭 3. 3. 3 | レンゲツツジは背が低く、多数の枝を出して株立ちとなり大きな花をつける。フジザクラの正名はマメザクラで、サクラとしては低木である。県花となっている。 |
| 山ノ神のフジ | 富士吉田市 | 昭 3. 10. 31 | 樹種はマメ科のフジ2株からなっていて、甲樹は幹囲2.40m、乙樹は2.20m。 |
| 吉田胎内樹型 | 富士吉田市 | 昭 4. 12. 17 | 剣丸尾溶岩流の東縁にあり、1本の横臥型と3本の井形樹型、小円筒型横臥型からなる全長61mの溶岩樹型。 |
| 雁ノ穴 | 富士吉田市 | 昭 7. 10. 19 | 雁ノ穴丸尾にあり、崩れ穴（全長57m）、流れ穴（全長150m）の2つの溶岩洞穴と16個の溶岩樹型からなる。 |
| 三恵の大ケヤキ | 南アルプス市 | 昭 3. 11. 30 | 指定当時日本一の巨樹ともいわれ目通り幹囲14.80m、高さ20m、幹の中心部が朽ちて2本に別れたような形になっている。 |
| 古長禅寺のビャクシン | 南アルプス市 | 昭29. 6. 21 | 約650年前の開山当時前庭の四隅に夢窓疎石によって植えられたと伝える古木、4本のうち最大のものは株立ちとなっている。北西の木で根回り6.95m、高さ15mである。 |
| 山高の神代ザクラ | 北杜市 | 大11. 10. 12 | 樹種はシロヒガンで開花期は4月20日ころである。伝説によれば日本武尊のお手植えで、樹勢が衰えを憂慮した日蓮上人が念じたところ、不思議にも回復したといわれる。 |
| 美森の大ヤマツツジ | 北杜市 | 昭10. 6. 7 | ツツジ類は高木樹などが失われた場所に2次的に生えるもので、この付近山ツツジは赤色、赤紫色の花をつけるものが多く、指定樹は赤色である。群落をなす。 |
| 根古屋神社の大ケヤキ | 北杜市 | 昭33. 5. 15 | 根古屋神社の拝殿前にある巨木で向かって左を田木、右を畑木と称して、芽吹きで豊作を占ったという。田木幹囲10.10m、畑木幹囲11.90mである。 |
| 上野原の大ケヤキ | 上野原市 | 昭19. 11. 13 | もと御岳神社の境内にあったもので、神社移転後、埋め立てて校庭となった。基部の約3mは盛土の中であるが、幹囲8.64m、高さ28mの巨木である。 |

| 名称 | 地域 | 指定年月日 | 解説 |
|----------------|--------|-------------|---|
| 新倉の糸魚川―静岡構造線 | 早川町 | 平13. 8. 13 | 本州を東西に分かつ構造線である糸魚川静岡地質構造線の中で最大規模の断層路頭であり、フォッサ・マグナ構造発達史研究上極めて貴重な路頭。 |
| 本国寺のおハツキイチョウ | 身延町 | 昭 4. 4. 2 | 雌株で、葉の上に種子を結ぶ。幹囲5.30m、高さ25.0m。日蓮上人お手植えの伝説がある。 |
| 上沢寺のおハツキイチョウ | 身延町 | 昭 4. 4. 2 | 雌株で、葉の上に実をつける珍しい種であることが白井博士により紹介されたのがこの木である。幹囲6.80m、高さ37mである。逆さイチョウ、毒消しイチョウの名で親しまれている伝説の木である。 |
| 身延町のブッポウソウ繁殖地 | 身延町 | 昭12. 12. 21 | ブッポウソウは、仏法僧目、仏法僧科、仏法僧属に入り、一科一属である。南アジアに分布し、5月ころ日本には飛来する。ハトよりやや大きく、頭部は黒、嘴と足が赤、他は青紫色である。本県唯一の生息地。 |
| 八木沢のおハツキイチョウ | 身延町 | 昭15. 7. 12 | 雄株で、葉の上に雄花がつくものである。おハツキイチョウの雄株は県下では2本しか見つかっていない。幹囲3m、高さ25mである。 |
| 忍野八海 | 忍野村 | 昭 9. 5. 1 | 出口池、お釜池、底抜け池、銚子池、湧池、濁池、鏡池、菖蒲池の八湧水からなる。このほかにも小湧水はあるが、仏教思想によって八海に限った。 |
| 山中のハリモミ純林 | 山中湖村 | 昭38. 1. 18 | 鷹丸尾という熔岩流の上(72.34ha)に発達したハリモミの純林である。世界的に有名。近年植生の変化が見られる。 |
| 鳴沢氷穴 | 鳴沢村 | 昭 4. 12. 17 | 長さ52mの熔岩洞穴で、2つの広間を持ち、天井には熔岩鐘乳石面が保存され、トンネルに並行して熔岩樹型が見られる。また富士山の覆流水が氷った氷塊があるので、名称のもととなった。 |
| 神座風穴 附蒲鉾穴及び眼鏡穴 | 鳴沢村 | 昭 4. 12. 17 | 総延長約440mの規模の大きな風穴で、風穴内の空気は外温とほとんど変わらず、氷がない。蒲鉾穴は28mの長さで、ガスが表層を走った表層洞穴、眼鏡穴は円形のガス噴気孔とガスによって形成されたものである。 |
| 大室洞穴 | 鳴沢村 | 昭 4. 12. 17 | 大室山の北麓にあり、標高1190mである。現在入り口部が塞がれ入洞することができない。 |
| 精進の大スギ | 富士河口湖町 | 昭 3. 1. 31 | 諏訪神社社殿南側にあり、目通り幹囲10.20m、樹高40mの巨木。 |
| 富士風穴 | 富士河口湖町 | 昭 4. 12. 17 | 総延長230m、幅5～10m、高さ5m前後で、多量の氷を有している。 |
| 富岳風穴 | 富士河口湖町 | 昭 4. 12. 17 | 総延長258.7m、熔岩棚がよく発達しているほか、熔岩鐘乳石は落下しており、洞穴形成後あとから流入した熔岩が縄状熔岩を形成している。 |
| 本栖風穴 | 富士河口湖町 | 昭 4. 12. 17 | 長さ約494mで、洞穴中央部に2つのガス噴気孔と一部に熔岩葡萄状鐘乳石が発達している。 |
| 竜宮洞穴 | 富士河口湖町 | 昭 4. 12. 17 | 標高940m、長さ約60mで、洞穴入り口付近に南北性の熔岩溝が発達する。崩壊が激しい危険な洞穴である。 |
| 船津胎内樹型 | 富士河口湖町 | 昭 4. 12. 17 | 複雑に雑交した溶岩樹型で、特に広場と呼ばれる部分の熔岩は肋骨状をなし、鉄分のため赤味を帯びる。 |
| 西湖蝙蝠穴及びコウモリ | 富士河口湖町 | 昭 4. 12. 17 | 標高925mで洞穴の総延長が約386mにも及ぶ。熔岩鐘乳石面、縄状熔岩床が発達している。夏季でも冷気を覚えず、冬季も比較的温暖であることから、コウモリの冬眠場所となった。 |
| 甲斐犬 | 地域を定めず | 昭 9. 1. 22 | 体高32～51cm、体重12～24kg、耳はやや長く、四肢は強健で飛躍が発達し、尾は差尾または巻尾、毛は虎模様で粗剛である。 |
| ヤマネ | 地域を定めず | 昭50. 6. 26 | げっし目ヤマネ科の小動物。高山の森林地帯に棲み、果実や昆虫を食する。 |

(2)山梨県文化財保護条例による指定

| 名 称 | 所在地 | 指定年月日 | 特 徴 |
|---------------|--------|-----------|--|
| 名勝 | | | |
| 棲雲寺庭園 | 甲州市 | 昭54. 3.31 | 急斜面にある庭園は、規模雄大で他に例がなく、その中に磨崖仏二軀がある。 |
| 東光寺庭園 | 甲府市 | 昭54. 3.31 | 池泉鑑賞式庭園で再興開山蘭溪道隆作と伝える。枯滝を中心に豪快な石組で、大変迫力に富む。 |
| 三光寺庭園 | 甲州市 | 昭54. 3.31 | 寺の草創は推古天皇の三年と伝える。流水式庭園、二つの鶴、亀の出島を持つ。 |
| 大善寺庭園 | 甲州市 | 昭54. 3.31 | 池泉鑑賞式庭園で、江戸時代初期の三枝守全の作庭。豪華な景趣、洗練された造形美を特つ。 |
| 永安寺庭園 | 山梨市 | 昭58.12.26 | 斜面を利用した2段構成の石組み構成は見事で、右手奥には巨大な主石をの鳳来石組みがある。 |
| 天然記念物 | | | |
| 富士浅間神社の大スギ | 富士吉田市 | 昭33. 6.19 | 神社の御神木、幹囲8.23m、高さ30m、富士太郎と呼ばれる。 |
| 福士金山神社のイチョウ | 南部町 | 昭33. 6.19 | 雌木で県下一の巨木、幹囲8.85m、高さ30m。 |
| 湯島の大スギ | 早川町 | 昭33. 6.19 | 幹囲は、11.10m。高さは45m、県下一の大杉。 |
| 河口浅間神社の七本スギ | 富士河口湖町 | 昭33. 6.19 | 7本のスギの巨木。最も大きいもので、囲8.75m、高さ47.5mである。 |
| 檜峰神社のコノハズク生息地 | 笛吹市 | 昭33. 6.19 | コノハズクは、4月下旬ころ飛来する。コノハズクがブポウソウと鳴くのを確認した記念の場所。 |
| 七面山の大トチノキ | 早川町 | 昭34. 2. 9 | 目通り幹囲6.80m。高さ25mの巨樹。 |
| 身延山の千本スギ | 身延町 | 昭34. 2. 9 | 身延山西谷にある面積0.85ha、本数約250本、代表的な木は幹囲6.30m、高さ55mである。 |
| 神田の大糸サクラ | 北杜市 | 昭34. 2. 9 | エドヒガンの変種イトザクラ。目通り幹囲7.50m、高さ9mで、花期は4月中下旬である。 |
| 白州町殿町のサクラ | 北杜市 | 昭34. 2. 9 | エドヒガン、目通り幹囲5.0m、高さ12m。 |
| 雲峰寺のサクラ | 甲州市 | 昭34. 2. 9 | エドヒガン、目通り幹囲5.30m、高さ約20m。 |
| 本良院の大ツゲ | 北杜市 | 昭34. 2. 9 | 幹囲2.25m、高さ約7.5mである。樹種はモチノキ科のイヌツゲである。 |
| 渋沢のヒイラギモクセイ | 北杜市 | 昭34. 2. 9 | 樹種はギンモクセイとヒイラギの雑種と推定される。幹囲3.35m、高さ約8mである。 |
| 岩窪八房のウメ | 甲府市 | 昭34. 2. 9 | ウメの変種ザロンバイ(座論梅)。結果した形が品の字に似ているので「品字梅」ともいう。 |
| 真福寺の大カヤ | 都留市 | 昭34. 2. 9 | 目通り幹囲6.00m、高さ16.30mの巨木。 |
| 上於曾のアカガシ | 甲州市 | 昭34. 2. 9 | ブナ科アカガシで、高さ25m。 |
| 永岳寺の大カシ | 韮崎市 | 昭34. 2. 9 | ブナ科シラカシで、高さ25m。 |
| 塩部寿のフジ | 甲府市 | 昭34. 2. 9 | 県道拡幅で昭和48年に現在地に移植、2本に別れ目通り幹囲0.75mと0.80m、花期は4月下旬。 |
| 苗敷山のアスナロ | 韮崎市 | 昭34. 2. 9 | 穂見神社に植えら、囲3.50m、高さ30mの大樹。 |
| モリアオガエル及び生息地 | 南部町 | 昭34. 2. 9 | 樹上生活を行い、産卵も水上の枝に卵塊を着け、孵化してオタマジャクシとして水中に落ちる。 |
| 七面山の大イチイ | 早川町 | 昭34. 2. 9 | 目通り幹囲5.90m、高さ21.50mの巨樹。 |
| 笹子峠の矢立のスギ | 大月市 | 昭35.11. 9 | 『甲斐叢記』の記述や二代広重の名画になっている。目通り幹囲9.70m、高さ24mで樹幹は空洞。 |
| 湯沢の思いスギ | 南アルプス市 | 昭35.11. 9 | 連理(れんり)の姿を呈す大木で、それぞれの幹囲5mで10mとなる。高さ35m。 |

| 名 称 | 所在地 | 指定年月日 | 特 徴 |
|--------------|--------|-----------|---|
| 上大幡のナシ | 都留市 | 昭35.11.9 | アオナシの台木にサビナシを接木したもので貴重。 |
| 一宮浅間神社の夫婦ウメ | 笛吹市 | 昭35.11.9 | 花は紅色八重、めしべが2本で、1つの花に2果結実し、ゆ着する。 |
| 洞雲寺八房のウメ | 山梨市 | 昭35.11.9 | ヤツブサウメの特徴顕著。『甲斐国志』に紹介あり。 |
| 野牛島のビャクシン | 南アルプス市 | 昭35.11.9 | 目通り幹囲3.10m、高さ12mの巨樹。 |
| 北原金峰山のサクラ | 山梨市 | 昭35.11.9 | エドヒガン及びイトザクラの2本が指定。エドヒガンは花卉が重弁という珍しいもの。ともに樹齢数百年といわれている。 |
| 白根町のカエデ | 南アルプス市 | 昭35.11.9 | イロハモミジ(タカオカエデ)、目通り幹囲4.02m、高さ21mの巨樹。 |
| 楡形町中野のカキ | 南アルプス市 | 昭35.11.9 | 渋柿の品種エブク、目通り幹囲4.00mの巨木。 |
| 宝珠寺のマツ | 南アルプス市 | 昭35.11.9 | クロマツ、目通り幹囲3.40mの巨樹。 |
| 忍草浅間神社のイチイ群 | 忍野村 | 昭35.11.9 | イチイ17本。最大は、幹囲3.70m、高さ15m。 |
| 本郷の千年ザクラ | 南部町 | 昭36.12.7 | エドヒガンの花の白色なもの。目通り幹囲4.40m、高さ12mで巨樹、老樹として有名。 |
| 一色のニッケイ | 身延町 | 昭36.12.7 | 目通り幹囲1.60m、高さ12mの巨樹。 |
| 下竹森のネズ | 甲州市 | 昭36.12.7 | 目通り幹囲3.10m、高さ15mの巨樹。 |
| 鶯宿峠のリョウメンヒノキ | 笛吹市 | 昭36.12.7 | 鶯宿峠のナンジャモンジャといわれ、ヒノキの変種。 |
| 軍刀利神社のカツラ | 上野原市 | 昭36.12.7 | 目通り幹囲9.00m、高さ31mの巨樹。 |
| 比志神社の大スギ | 北杜市 | 昭36.12.7 | 目通り幹囲6.90m、高さ31mの巨樹。 |
| 吉祥寺の新羅ザクラ | 山梨市 | 昭36.12.7 | エドヒガン、倒れた幹からまた成長、幹囲3.10mの巨樹。 |
| 青岩鍾乳洞 | 丹波山村 | 昭37.12.17 | 丹波山川支流、後山川の上流青岩谷左岸にある。総延長約740m。 |
| 水晶峠のヒカリゴケ洞穴 | 甲府市 | 昭38.9.9 | 昔、水晶を採掘した洞穴に発生するヒカリゴケ。 |
| 上菅口のネズ | 甲斐市 | 昭38.9.9 | 目通り幹囲2.65m、高さ13.3m、樹齢約300年の巨樹。 |
| 龍地の揚子ウメ | 甲斐市 | 昭38.9.9 | 本樹はアンズ。果実の核に揚子をさしたような穴がある。幹囲1.15m、高さ7mの巨樹。 |
| 菅田天神社のカシ群 | 甲州市 | 昭38.9.9 | ツクバネガシとオオツクバネガシの巨木24木。最大のものは、幹囲3m以上、高さ24mである。 |
| 小原東のザクロ | 山梨市 | 昭38.9.9 | 目通り幹囲1.62m、高さ7.5mの巨樹。 |
| 全福寺のタラヨウ | 大月市 | 昭38.9.9 | 目通り幹囲2.00m、高さ17mで巨木。 |
| 顕本寺のおハツキイチョウ | 南部町 | 昭38.9.9 | 目通り幹囲4.80m、高さ25.5m。双性のお葉付イチョウである点が植物学上特異である。 |
| 竜泉寺の万年マツ | 山梨市 | 昭38.9.9 | クロマツ、目通り幹囲2.65m、高さ7mの名木。 |
| 鏡円坊のサクラ | 身延町 | 昭39.2.20 | イトザクラ、幹囲3.75m、高さ13mの巨樹。 |
| 湯沢のサイカチ | 南アルプス市 | 昭39.6.25 | 目通り幹囲3.00m、高さ5mの巨木。 |
| 萬福寺のムクノキ | 甲州市 | 昭39.6.25 | 目通り幹囲4.97m、高さ25.5mの巨樹。根が板状。 |
| 塩沢寺の舞鶴マツ | 甲府市 | 昭40.5.13 | クロマツ、目通り幹囲1.60m、高さ7m、鶴が舞い上がった形をした名木である。 |
| 膝立の天王ザクラ | 山梨市 | 昭40.8.19 | エドヒガン、目通り幹囲4.25m、高さ13mの巨樹。 |

| 名 称 | 所在地 | 指定年月日 | 特 徴 |
|--------------|--------------------------|--------------------------------|--|
| 城下のシキザクラ | 山梨市 | 昭40. 8.19 | シキザクラ、春秋2回咲く珍種。 |
| 小淵沢のモミ | 北杜市 | 昭41. 5.30 | 目通り幹囲5.85m、高さ50mの巨木。 |
| 樋之上のタカオモミジ | 身延町 | 昭41. 5.30 | タカオモミジ、目通り幹囲3.90m、高さ2.50mの巨樹。 |
| 本妙寺のイチヨウ | 身延町 | 昭41. 5.30 | 目通り幹囲6.75m、高さ30mの巨樹。 |
| 鶴島のムクノキ | 上野原市 | 昭41. 5.30 | 目通り幹囲6.30m、高さ23mの巨樹。 |
| 清春のサクラ群 | 北杜市 | 昭41. 5.30 | ソメイヨシノ48株の巨樹群、最大幹囲3.80m、高さ10mである。花期は4月下旬。 |
| 寺所の大ヒイラギ | 北杜市 | 昭42. 5.29 | 幹囲2.05m、高さ4.5mの巨樹。 |
| 一の宮神社の社叢 | 上野原市 | 昭42. 5.29 | 目通り幹囲8.40mのスギを始め、ヒノキ、トチノキの巨木が多い。 |
| 樋之上のヤマボウシ | 身延町 | 昭42. 5.29 | 目通り幹囲1.60m、高さ16mの巨樹。 |
| 流通寺のビャクシン | 市川三郷町 | 昭43. 2. 8 | 目通り幹囲3.5m、高さ8mの巨樹。 |
| 清泰寺のカヤ | 北杜市 | 昭43. 2. 8 | 目通り幹囲5.40m、高さ28mの巨樹。 |
| 大嵐のビャクシン | 南アルプス市 | 昭43. 2. 8 | 目通り幹囲3.80m、高さ18mの巨木。 |
| 智光寺のカヤ | 笛吹市 | 昭45.10.26 | 根張りの発達状況は県下一。目通り幹囲5.37m、高さ23.8mの巨木。 |
| 下黒沢のコウヤマキ | 北杜市 | 昭45.10.26 | 目通り幹囲4.60m、高さ21mの巨木。 |
| 鳥久保のサイカチ | 北杜市 | 昭45.10.26 | 幹囲5.40m、高さ15mの巨木。 |
| 遠照寺のアカマツ | 北杜市 | 昭45.10.26 | 2本(夫婦の松)の巨木。各根回り3.50m、2.50m |
| 宗源寺のヒダリマキカヤ | 笛吹市 | 昭45.10.26 | カヤノ変種ヒダリマキガヤデ。カヤの奇木。 |
| 鏡中条のゴヨウマツ | 南アルプス市 | 昭45.10.26 | 庭木で目通り幹囲0.75m、高さ10.55m。ゴヨウマツの別種ネギシゴヨウにあたる。 |
| 井出八幡神社の社叢 | 南部町 | 昭45.10.26 | 本県最南端の社叢、タブノキ、カゴノキのほかヤブニケイ、クスノキなどの暖地系植物が目立つ。 |
| 氷室神社の大スギ | 富士川町 | 昭48. 7.12 | 目通り幹囲8.20m、高さ38m巨木。 |
| 一瀬クワ | 市川三郷町 | 昭51. 2.23 | 一瀬クワの原木。一瀬クワは葉質、収量ともに優れ、養蚕に貢献した功績はきわめて大きい。 |
| キマダラルリツバメ | 南都留郡、北都留郡、富士吉田市、都留市及び大月市 | 昭52. 3.31 昭58. 7.21 記載変更 | シジミチョウ科。後翅に2本の尾を持つ珍しい蝶。 |
| ミヤマシロチョウ | 南巨摩郡、南アルプス市、北杜市及び韮崎市 | 昭52. 3.31 昭58. 7.21 記載変更 | 標高1400～2000m生息する高山蝶の一種。 |
| 須玉町日影のトチノキ | 北杜市 | 昭54. 2. 8 | 目通り幹囲8.40m、高さ30mの巨木。 |
| 四尾連のリョウメンヒノキ | 市川三郷町 | 昭55. 9.18 | 二株。目通り幹囲6.30m、28mと4.55m、高さ27mの巨樹。 |
| 藤袋のヤツブサウメ | 笛吹市 | 昭55. 9.18 | ザロンバイ。目通り幹囲1.44m、高さ5mで珍種。 |
| 法久寺のコツブガヤ | 甲斐市 | 昭58.12.26 | 果実が15～20mmと矮小。 |
| 下黒駒の大ヒイラギ | 笛吹市 | 昭60. 3.19 | 幹囲2.95m、高さ7.5mの巨樹。 |

| 名 称 | 所在地 | 指定年月日 | 特 徴 |
|-------------------|------------|------------------------|--|
| 十日市場の大ケヤキ | 南アルプス市 | 昭61. 3.19 | 幹囲8.8m、高さ24mの巨木。 |
| 島尻の大カヤ | 南部町 | 昭61. 3.19 | 幹囲5.7m、高さ16mの巨樹。普通のカヤより実が大きく3cm近くある。 |
| 慈恩寺のフジ | 甲府市 | 昭62. 1.21 | 囲2.5m、枝の広がり約300㎡の巨木。 |
| 下石森のチョウセンマツ | 山梨市 | 昭62.12. 2 | 幹囲1.70m、高さ7.3mのチョウセンゴヨウの名木。 |
| 称願寺のサクラ | 笛吹市 | 昭63.11.16 | 樹種はヤマザクラ系の園芸種で名前が特定できない珍しいものである。幹囲4.18m、高さ6.5m |
| 七日市場のチョウセンマキ | 山梨市 | 昭63.11.16 | 根元で別れ、その幹囲2.05m、高さ5.70mの大木。 |
| 養福寺のフジ | 北杜市 | 平 1. 4.19 | シラカシとスギに絡んで、高さ30m。古い木で根元は7本に別れ、太いものは1.1m。 |
| 大豆生田のヒイラギ | 北杜市 | 平 2. 2. 7 | 幹囲3.5m、高さ7.7mの県下随一の雄株の巨樹。 |
| 京ヶ島の夫婦スギ | 早川町 | 平 2 .6.28 | 2本の巨木(夫婦スギ)男スギは幹囲3.25m、高さ38.5m、女スギは幹囲6.77m、高さ40.5m。 |
| 比志のエゾエノキ | 北杜市 | 平 2.12.20 | 幹囲3.90m、高さ13mの巨木。 |
| 表門神社のコツブガヤ | 市川三郷町 | 平 3. 5.30 | 目通り2.2m、樹高19.5m。コツブガヤは、種子が小さい点が特色。甲斐市法久寺にも同種がある。 |
| 鳴沢のアズキナシ | 鳴沢村 | 平 3. 5.30 | 幹囲3.15m、高さ23mの巨木。 |
| 薬王寺のオハツキイチョウ | 市川三郷町 | 平 4. 3. 5 | 珍しい雄木。幹囲3.8m、高さ18m。 |
| 若神子新町のモミ | 北杜市 | 平 4. 3. 5 | 幹囲2.96m、高さ33mの巨木。 |
| 東の大イヌガヤ | 山梨市 | 平 4. 3. 5 | 貴重な老大樹。 |
| 箕輪新町のヒメコマツ | 北杜市 | 平 5. 2.15 | ゴヨウマツ(ヒメコマツ)で幹囲2.96m、高さ25mの巨木。 |
| 切差金毘羅山のヒノキ群 | 山梨市 | 平 5.11.29 平 9.12.15 | 山中の岩脈上に発達したヒノキ群で、最大のものは幹囲6.75m、高さ16.5m。 |
| フジマリモ及び生息地 | 山中湖、河口湖、西湖 | 昭33. 6.19 平 5.11.29 | フジマリモは緑藻類ミドリゲ族シオグサ科マリモ属の藻類。 |
| リニア高川トンネル産出新第三紀化石 | 甲府市 | 平 6.11. 7 | 新生代(約700万年前)のツキヒガイの貝化石。 |
| 諏訪神社の社叢 | 北杜市 | 平 6.11. 7 | アサダ、トチノキの大木の森床に石灰岩特有の植物群落がある。 |
| 船宮神社の大ヒノキ | 甲州市 | 平 6.11. 7 | 幹囲6.48m、高さ30mの巨木。 |
| 柳川のイヌガヤ群 | 富士川町 | 平 6.11. 7 | 約40本が群生。最大は、幹囲0.9m、高さ7m。 |
| 兄川から出土したナウマン象等の化石 | 甲府市、山梨市 | 平 7. 6.22 | 約3万年前の年代が得られているナウマンゾウの臼歯および大型のシカの化石。 |
| 手打沢の不整合露頭 | 身延町 | 平 8. 2.19 | フォッサマグナ構造発達史研究の歴史的舞台となった不整合露頭。 |
| 小淵沢町・白州町のトウヒ属樹根化石 | 北杜市 | 平 9.12.15 | 出土層位からリス氷期のものと推定されるトウヒ属の樹根化石。 |
| 軽水風穴 | 鳴沢村 | 平10. 6. 8 | 殻(クラスト)の三層の間に空間が出来て鍾乳が見られること、チューブ・イン・チューブ、葡萄状溶岩鍾乳の特に貴重な洞穴。 |
| 溶岩球(LAVA BALL)群 | 鳴沢村 | 平10. 6. 8 | 入口部に引っ掛った3個、洞外に2個の計5個の球状をした溶岩球。 |
| 慈雲寺のイトザクラ | 甲州市 | 平17.12.26 | 目通幹囲3.31m、樹高17.6m、枝張り11.5～12.5m、花卉5枚、花径2～2.2cm、紅紫色 |

7 4 山梨県自然環境保全条例による自然環境保全地区等一覧表

(1) 自然環境保全地区一覧表

| 区分 | 名称 | 場所 | 所有区分(ha) | | | |
|----------------------------|---------|---|----------|-------|-----|-------|
| | | | 国有地 | 県有地 | 民有地 | 計 |
| 自然保存地区 (13) | 小金沢山 | 甲州市塩山上萩原、塩山下萩原、塩山牛奥 甲州市大和町初鹿野、田野 大月市大月町真木 大月市七保町瀬戸、奈良子 | | 612 | | 612 |
| | 小金沢土室 | 大月市七保町瀬戸 | | 15 | | 15 |
| | 滝子山 | 大月市笹子町白野、初狩町下初狩 | | 37 | | 37 |
| | 三ツ峠山 | 都留市大幡 | | 140 | | 140 |
| | 御正体山 | 都留市鹿留、菅野熊井戸 南都留郡道志村 | | 55 | 41 | 96 |
| | 七里ヶ岩 | 韮崎市穴山町重久 北杜市須玉町若神子 | 3 | 44 | 1 | 48 |
| | 黒岳 | 笛吹市御坂町上黒駒 | | 12 | | 12 |
| | 七面山 | 南巨摩郡早川町赤沢 南巨摩郡身延町身延 | | 147 | 51 | 198 |
| | 笹ヶ岳 | 南巨摩郡早川町雨畑、保 | | 615 | | 615 |
| | 篠井山 | 南巨摩郡南部町成島、福土、楮根 | | 74 | 19 | 93 |
| | 大岩山 | 北杜市白州町大武川 | | 241 | | 241 |
| | 大平 | 北杜市白州町上教来石 | | 15 | | 15 |
| | 清水谷 | 北杜市白州町上教来石 | | 22 | | 22 |
| | | 計 | 3 | 2,029 | 112 | 2,144 |
| 自然環境保全地区 景観保存地区 (12) | 小金沢溪谷 | 大月市七保町瀬戸 | | 165 | | 165 |
| | 小檜山 | 山梨市牧丘町北原 | | 13 | | 13 |
| | 大滝不動尊 | 甲州市勝沼町菱山 | | | 40 | 40 |
| | 竜門峡 | 甲州市大和町初鹿野、田野、木賊 | | 18 | 48 | 66 |
| | 戸川溪谷 | 南巨摩郡富士川町小室、平林 | | 28 | 2 | 30 |
| | 雨畑湖 | 南巨摩郡早川町雨畑 | | 46 | 170 | 216 |
| | 保川溪谷 | 南巨摩郡早川町保 | | 9 | 61 | 70 |
| | 早川溪谷 | 南巨摩郡早川町湯島、新倉 | | 18 | 53 | 71 |
| | 福土川溪谷 | 南巨摩郡南部町福土 | | | 44 | 44 |
| | 観音峠・茅ヶ岳 | 甲斐市上芦沢 北杜市須玉町江草、金ヶ岳 | | 401 | | 401 |
| | 紅葉橋 | 北杜市須玉町江草、比志 | | 47 | 3 | 50 |
| | 八ヶ岳川俣 | 北杜市大泉町西井出 | | 132 | | 132 |
| | | 計 | 0 | 877 | 421 | 1,298 |
| 歴史景観保全 地区(5) | 塩の山 | 甲州市塩山上於曾 | | | 34 | 34 |
| | 岩殿山 | 大月市賑岡町強瀬、畑倉 | | 48 | 1 | 49 |
| | 白山城 | 韮崎市神山町鍋山 | | | 12 | 12 |
| | 山梨岡 | 笛吹市春日居町鎮目 | | | 16 | 16 |
| | 谷戸城 | 北杜市大泉町谷戸 | | | 6 | 6 |
| | 計 | 0 | 48 | 69 | 117 | |
| 自然活用地区 | 乙女高原 | 山梨市牧丘町北原 | | 91 | | 91 |

(2) 自然記念物一覧表

| 区分 | 名称 | 場所 | 所有区分 (ha) | | | |
|-------------|---------------------------------|-------------------------------------|-----------|--------|--------|--------|
| | | | 国有地 | 県有地 | 民有地 | 計 |
| 植 物 (28) | 新屋山神社の社そう | 富士吉田市新屋 | | | 0.52 | 0.52 |
| | 三窪のレンゲツツジ及び生育地 | 甲州市塩山小屋敷、平沢 | | 29.67 | | 29.67 |
| | 竹森のザゼンソウ | 甲州市塩山竹森 | | | 1.11 | 1.11 |
| | 嵯峨塩のオオバボダイジュ、モイワボダイジュ、ハルニレ及び生育地 | 甲州市塩山牛奥、大和町初鹿野 | | 0.73 | | 0.73 |
| | 三ツ峠山の特殊植物 | 都留市大幡 南都留郡西桂町下暮地 南都留郡富士河口湖町河口 | | 794.67 | 57.86 | 852.53 |
| | 川棚のアラカシ林 | 都留市川棚 | | | 0.14 | 0.14 |
| | 宝鏡寺のヤマブキノソウ及び生育地 | 都留市夏狩 | | | 0.14 | 0.14 |
| | 苗敷山のモミ林 | 韮崎市旭町上条南割 | | | 2.46 | 2.46 |
| | 滝戸山のアオギリ林 | 甲府市中畑町 | | 1.65 | | 1.65 |
| | 滝戸山のシラカシ林 | 甲府市中畑町 | | 0.65 | | 0.65 |
| | 芦川のズズラン及び生育地 | 笛吹市芦川町上芦川 | | | 2.61 | 2.61 |
| | 畑熊のミスミノ | 西八代郡市川三郷町畑熊 | | | 0.06 | 0.06 |
| | 氷室神社のスギ林 | 南巨摩郡富士川町平林 | | | 1.60 | 1.60 |
| | 早川橋のモクゲンジ林 | 南巨摩郡身延町遅沢 | | | 0.12 | 0.12 |
| | 七面山のゴヨウツツジ | 南巨摩郡早川町高住 南巨摩郡早川町雨畑 | | 8.12 | | 8.12 |
| | 一宮賀茂神社のサカキ林 | 南巨摩郡身延町下山 | | | 0.29 | 0.29 |
| | 佐野の暖帯林 | 南巨摩郡南部町下佐野 | | | 0.06 | 0.06 |
| | 円蔵院のカギガタアオイ及びリンボク | 南巨摩郡南部町南部 | | | 0.11 | 0.11 |
| | 西市森の暖帯林 | 南巨摩郡南部町富士 | | | 0.05 | 0.05 |
| | 富士川のサツキ及びシラン | 南巨摩郡南部町万沢 | 0.72 | | | 0.72 |
| | 金山沢のハシドイ林 | 北杜市須玉町小尾 | | 4.91 | | 4.91 |
| | 木賊平のエゾリンドウ | 北杜市須玉町比志 | | 0.41 | | 0.41 |
| | 石尊神社のアカマツ並木 | 北杜市白州町鳥原 | | | 0.55 | 0.55 |
| | 大室のカワノリ | 南都留郡道志村大室 | 350m*1 | | | 350m |
| | 石合のカタヒバ | 南巨摩郡南部町富士 | | | 0.20 | 0.20 |
| | 古城山のシイ及びウラジロ | 南巨摩郡南部町南部 | | | 0.30 | 0.30 |
| | 反木川上流のヨコグラノキ | 南巨摩郡身延町八坂 | | | 0.0066 | 0.0066 |
| | 櫛形山アヤマメ平及び裸山のアヤマメ群落 | 南アルプス市上市之瀬 | | 11.33 | | 11.33 |
| 動物 (2) | 栃代川上流のハコネサンショウウオ及び生息地 | 南巨摩郡身延町栃代 | 1170m*2 | | | 1170m |
| | 日野のオオムラサキ及び生息地 | 北杜市長坂町日野 | | 0.59 | 0.92 | 1.51 |
| 地質鉱物 (8) | 大島の灰長石 | 大月市七保町葛野 | | | 0.01 | 0.01 |
| | 牧丘の千貫岩 | 山梨市牧丘町北原 | | 0.07 | | 0.07 |
| | 曾根丘陵の植物化石及び珪藻化石 | 笛吹市境川町藤袋 | | | 0.02 | 0.02 |
| | 日蔭山の枕状溶岩 | 甲府市左右口町 | | 0.02 | | 0.02 |
| | 小原島の貝化石 | 南巨摩郡身延町粟倉 | | | 0.14 | 0.14 |
| | 上佐野の透輝石 | 南巨摩郡南部町上佐野 | | | 0.03 | 0.03 |
| | ホッチ峠のマンジュウ石 | 甲斐市神戸、亀沢 | | | 0.02 | 0.02 |
| | 小袖の鍾乳洞 | 北都留郡丹波山村 | | | 0.49 | 0.49 |

*1公有土地水面 *2河川敷延長

75 やまなしの森林100選

平成4年度選定

| 分類 | 番号 | 名称 | 所在地 | 特長等 |
|-----------------------|----|------------------|------------------------------|-----------------|
| ① 林業上模範となる森林 | 1 | 奥仙丈のクリ林 | 甲府市上帯那町 | 広範囲に密生して分布 |
| | 2 | 塔岩のアカマツ林 | 甲府市上帯那町 | 良質な種子採取する母樹林 |
| | 3 | 富士山の人工カラマツ林 | 富士吉田市上吉田 | 大正天皇即位を記念し植樹 |
| | 4 | 萩原山のヒノキ・カラマツの二段林 | 甲州市塩山上萩原 | 水源かん養を目指した複層林 |
| | 5 | 塚本山のヒノキ林 | 山梨市三富上釜口 | 塚本氏の寄付金で植栽 |
| | 6 | 中草のスギ・ヒノキ林 | 南部町成島 | 富士川地域の代表的優良林 |
| | 7 | 相の山のヒノキ林 | 南部町内船 | 手入れの行き届いた美林 |
| | 8 | 森村山林のスギ・ヒノキ林 | 南部町富士 | 明治中期に造林開始 |
| | 9 | 南又のスギ・ヒノキ林 | 南部町富士 | 林業経営の手本に |
| | 10 | 富沢町有林のヒノキ林 | 南部町富士 | 古い歴史もつ一斉人工林 |
| | 11 | 高谷山の人工シラビソ林 | 南アルプス市芦安芦倉 | 低い標高に貴重な造林地 |
| | 12 | 東条林 | 南アルプス市上市之瀬 | 恩賜林御下賜に感激し植樹 |
| | 13 | 木賊峠の人工カラマツ林 | 北杜市須玉町比志 | まれに見る大木の美林 |
| | 14 | 江草前山のケヤキ林 | 北杜市須玉町江草 | 人工植栽で集団的に生育 |
| | 15 | 八ヶ岳山麓人工カラマツ林 | 北杜市小淵沢町、北杜市高根町、北杜市長坂町、北杜市大泉町 | 広大な美林 |
| | 16 | 小淵沢のアカマツ林 | 北杜市小淵沢町棒道下 | 周辺の景観形成に役立つ |
| | 17 | 下暮地のケヤキ林 | 西桂町下暮地 | 150年前から順次植栽 |
| | 18 | 札合のヒノキ・アカマツ林 | 忍野村内野 | 優れた林相、森林浴にも人気 |
| | 19 | 富士山二合目の人工シラビソ林 | 鳴沢村富士山 | 低い標高でも生育良好 |
| | 20 | 鳴沢の人工シラビソ・カラマツ林 | 鳴沢村富士山 | 公益的機能を重視し列状混植 |
| | 21 | 典範山のヒノキ林 | 小菅村棚沢 | 造林に17年費やす |
| | 22 | サカサ沢のヒノキ林 | 丹波山村泉水谷 | 森林復旧と水源かん養目的に植栽 |
| | 23 | 大沼沢のスギ林 | 丹波山村泉水谷 | ヒノキ、カラマツを混交植栽 |
| ② 景観等に優れた人々に親しまれている森林 | 24 | 御岳昇仙峡のアカマツ林 | 甲府市高成町、甲斐市吉沢 | 優れた渓谷美を彩る天然林 |
| | 25 | 要害山のアカマツ林 | 甲府市上積翠寺町 | 自然休養林として親しまれる |
| | 26 | 小松山のアカマツ林 | 甲府市和田町 | 森林浴や遠足に最適 |
| | 27 | 諏訪の森のアカマツ林 | 富士吉田市上吉田 | 雪代防止に3万本植林 |
| | 28 | 中の茶屋のフジザクラ群 | 富士吉田市上吉田 | カラマツの緑と美しく調和 |
| | 29 | 北口浅間神社の森 | 富士吉田市上吉田 | 境内を埋める巨樹群 |
| | 30 | 大菩薩のブナ林 | 甲州市塩山上萩原 | ハイカーの憩いの場に |
| | 31 | 柳沢峠のブナ・ミズナラ林 | 甲州市塩山上萩原 | 自然散策に絶好の天然広葉樹林 |
| | 32 | 塩の山のアカマツ林 | 甲州市塩山上於曾 | 古今和歌集に詠まれた景勝地 |
| | 33 | 嵯峨塩の広葉樹林 | 甲州市塩山牛奥、甲州市大和町初鹿野 | 日川渓谷沿いに多様な樹種 |
| | 34 | 御正体山の広葉樹林 | 都留市鹿留 | 針葉樹林と共生する森 |
| | 35 | 万力林 | 山梨市万力 | 公園に広がるアカマツ林 |
| | 36 | 黒岳の広葉樹林 | 大月市七保町 | 樹種豊富なカエデが魅力 |
| | 37 | 滝子山のブナ・ミズナラ林 | 大月市笹子町 | 米背負峠に高樹齢の大木 |
| | 38 | 午頭のアカマツ林 | 韮崎市円野町 | 八ヶ岳、富士望む憩いの場 |
| | 39 | 西奥仙丈の原生林 | 山梨市牧丘町北原 | シラビソ主体に分布 |
| | 40 | 檜峯神社の森 | 笛吹市御坂町上黒駒 | スギ、ヒノキの古木でうっそうと |
| | 41 | 沢妻川のシラカンバ林 | 笛吹市芦川町新井原 | 川沿いに集団的に生育 |
| | 42 | 竜ヶ岳の広葉樹林 | 富士河口湖町本栖 | ミズナラ純林含む優れた天然林 |
| | 43 | 一宮浅間神社のアカマツ林 | 市川三郷町高田 | 境内に広がる高樹齢の美林 |
| | 44 | 水室神社の森 | 富士川町平林 | スギ林が県自然記念物に |
| | 45 | 小室山妙法寺の森 | 富士川町小室 | 親しまれるスギ、ヒノキの大木 |
| | 46 | 赤沢のスギ、ヒノキ林 | 早川町赤沢 | 七面山参道沿いに壮観な林相 |
| | 47 | 笹ヶ岳の原生林 | 早川町雨畑 | 県最南端のハイマツ群落 |
| | 48 | 久遠寺の森 | 身延町身延 | スギ、ヒノキで見事な森林美 |
| | 49 | 奥山七ツ釜の暖帯林 | 南部町富士 | 溪流沿いの紅葉見もの |
| | 50 | 篠井山の広葉樹 | 南部町富士 | ブナ林にヒメシャラ混生 |

| 分類 | 番号 | 名称 | 所在地 | 特長等 |
|----------------------|-----|-----------------|--------------------|----------------|
| ② 景観等に優れ人々に親しまれている森林 | 51 | 伊奈ヶ湖のヒノキ林 | 南アルプス市上市之瀬 | 湖畔に広がる美しい人工林 |
| | 52 | 紅葉橋の広葉樹とアカマツ林 | 北杜市須玉町江草 | 橋付近にトゲナシサイカチ |
| | 53 | 本谷川溪谷の広葉樹林 | 北杜市須玉町小尾 | 増富温泉奥に広がる天然林 |
| | 54 | 金山沢の広葉樹林 | 北杜市須玉町小尾 | 県自然記念物指定のハシドイ林 |
| | 55 | みずがき山麓のシラカンバ林 | 北杜市須玉町小尾 | 樹皮の美しさ登山者に人気 |
| | 56 | 富士見平のミズナラ林 | 北杜市須玉町小尾 | 登山道沿いに純林広がる |
| | 57 | 通仙峡の広葉樹林 | 北杜市須玉町小尾 | 針葉樹と混生する天然林 |
| | 58 | 川俣溪谷の広葉樹林 | 北杜市大泉町西井出 | 東沢橋からの紅葉が絶景 |
| | 59 | 大滝湧水の森 | 北杜市小淵沢町上笹尾 | 優良な水環境の保全担う |
| | 60 | 編笠山の原生林 | 北杜市小淵沢町小淵沢 | コケむした森林にやすらぎ |
| | 61 | 梨ヶ原のアカマツ林 | 山中湖村山中 | 帯状の大径木が特別名勝に |
| | 62 | 小菅川雄滝のシオジ林 | 小菅村川入 | 都民の生活用水確保に貢献 |
| | 63 | 三条谷の広葉樹林 | 丹波山村奥後山 | シオジ主体の天然林 |
| | 64 | 大菩薩稜線のコメツガ林 | 丹波山村泉水谷 | 登山コース一帯に広がる |
| ③ 学術上貴重な森林 | 65 | 奥仙丈のミズナラ林 | 甲府市上帯那町 | 大木揃いの貴重な原生林 |
| | 66 | 金峰山のネズコ林 | 甲府市御岳町 | 中腹一帯に珍しい樹種 |
| | 67 | 富士山の天然シラビソ林 | 富士吉田市、鳴沢村 | 岩に根張り風雪に耐える |
| | 68 | 剣丸尾のアカマツ林 | 富士吉田市剣丸尾、富士河口湖町剣丸尾 | 溶岩地に発達した天然林 |
| | 69 | 大菩薩峠のウラジロモミ林 | 甲州市塩山上萩原 | 今後の森林施業に指針 |
| | 70 | 鈴庫山の天然ヒノキ林 | 甲州市塩山小屋敷 | 学術参考林で保存 |
| | 71 | 小金沢のシオジ林 | 大月市七保町 | 林道沿いの優れた広葉樹林 |
| | 72 | 鳳凰山のシラビソ・大シラビソ林 | 韮崎市清哲町 | 深山幽谷の世界遺産 |
| | 73 | 鳳凰山のダケカンバ林 | 韮崎市清哲町 | 枝張り広く古木の風情 |
| | 74 | 苗敷山のモミ林 | 韮崎市旭町 | 近くに植物の宝庫 |
| | 75 | 柚口のサワラ林 | 山梨市牧丘町柚口 | 火山岩上に群状に生育 |
| | 76 | 黒岳のブナ・ミズナラ林 | 笛吹市御坂町藤野木 | 御坂山を彩る広葉樹林 |
| | 77 | 稲山のケヤキ林 | 笛吹市八代町岡 | 県内一の規模誇る見本林 |
| | 78 | 滝戸山のミズナラ林 | 笛吹市境川町藤袋 | 大規模な純林、尾根筋に分布 |
| | 79 | 滝戸山のアオギリ林 | 甲府市中畑町 | 山地に自生の自然記念物 |
| | 80 | 滝戸山のシラカシ林 | 甲府市中畑町 | 温帯林の代表的な樹種 |
| | 81 | 大室山のブナ林 | 富士河口湖町本栖 | 富士北麓を代表する広葉樹 |
| | 82 | 青木ヶ原樹海 | 富士河口湖町、鳴沢村 | 富士のすそ野に広大な原生林 |
| | 83 | 本栖の天然ヒノキ林 | 富士河口湖町本栖 | 溶岩地に自生の大径木 |
| | 84 | 枳代のミズメ林 | 身延町杉山 | まれにみる大木の群生 |
| | 85 | 身延山の千本スギ | 身延町身延 | 県天然記念物指定の美林 |
| | 86 | 安倍峠のオオイタヤメイゲツ林 | 身延町大城 | 静岡との県境に群生 |
| | 87 | 信玄堤のケヤキ林 | 甲斐市竜王 | あばれ川を収める礎に |
| | 88 | 北沢峠の原生林 | 南アルプス市芦安芦倉 | ドロノキとシラビソ混生 |
| | 89 | 広河原のカツラ林 | 南アルプス市芦安芦倉 | 大木が集団的に生育 |
| | 90 | 白鳳峠のシラビソ林 | 南アルプス市芦安芦倉 | 典型的な倒木更新の林相 |
| | 91 | 櫛形山の原生林 | 南アルプス市上市之瀬 | コメツガ、ダケカンバが主体 |
| | 92 | 金峰山のヒメコマツ林 | 北杜市須玉町小尾 | 登山道に沿って集団的に生育 |
| | 93 | 清水谷の広葉樹林 | 北杜市白州町上教来石 | コメツガ混生の優良天然林 |
| | 94 | 大平のシラカバ林 | 北杜市白州町大武川 | 釜無川源流に広範囲に群生 |
| | 95 | 鞍掛山の天然カラマツ林 | 北杜市白州町白須 | 価値ある大規模な純林 |
| | 96 | 精進口登山道二合目のブナ林 | 鳴沢村富士山 | 原生林の特徴示す貴重な森 |
| | 97 | 富士山三合五勺の天然カラマツ林 | 鳴沢村富士山 | 国の特別母樹林に指定 |
| | 98 | 精進口登山道の富士山原生林 | 鳴沢村富士山 | 亜高山帯の典型的針葉樹林 |
| | 99 | 御庭・奥庭のカラマツ林 | 鳴沢村富士山 | 風下にだけ伸びた片枝 |
| | 100 | 富士山五合目のダケカンバ林 | 鳴沢村富士山 | 森林限界での生育が教材に |